

令和元年度

# 学校要覧



いちき串木野市立串木野小学校

〒896-0054 いちき串木野市日出町536番地

電話 0996-32-1738

FAX 0996-32-1739

## 目 次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1 校 歌                  | 1  |
| 2 校区略図                 | 2  |
| 3 学校の概要                | 3  |
| 4 学校の沿革                | 3  |
| 5 歴代校長                 | 6  |
| 6 学校経営理念・学校経営基本方針      | 7  |
| 7 学校経営グランドデザイン         | 11 |
| 8 学年目標                 | 12 |
| 9 学年別年間授業時数            | 14 |
| 10 日課表及び校時表            | 15 |
| 11 学級編制・職員一覧           | 16 |
| 12 校務分掌組織図             | 17 |
| 13 いじめ防止基本方針           | 18 |
| 14 防災規定                | 22 |
| 15 校内研修計画              | 26 |
| 16 年間行事計画              | 28 |
| 17 P T A会長・副会長・専門部長等名簿 | 29 |
| 18 P T A活動目標・努力点       | 30 |
| 19 避難経路図               | 31 |

### <校章について>



図案は野元義男(元串木野市助役)により、明治42年頃作られたものである。

串木野の串を揚羽蝶になぞらえ、中央の蝶の触覚に当たる部分と中央の直線はオリンピックのたいまつを象徴し、栄光の意味をもっている。

# 串木野小学校校歌

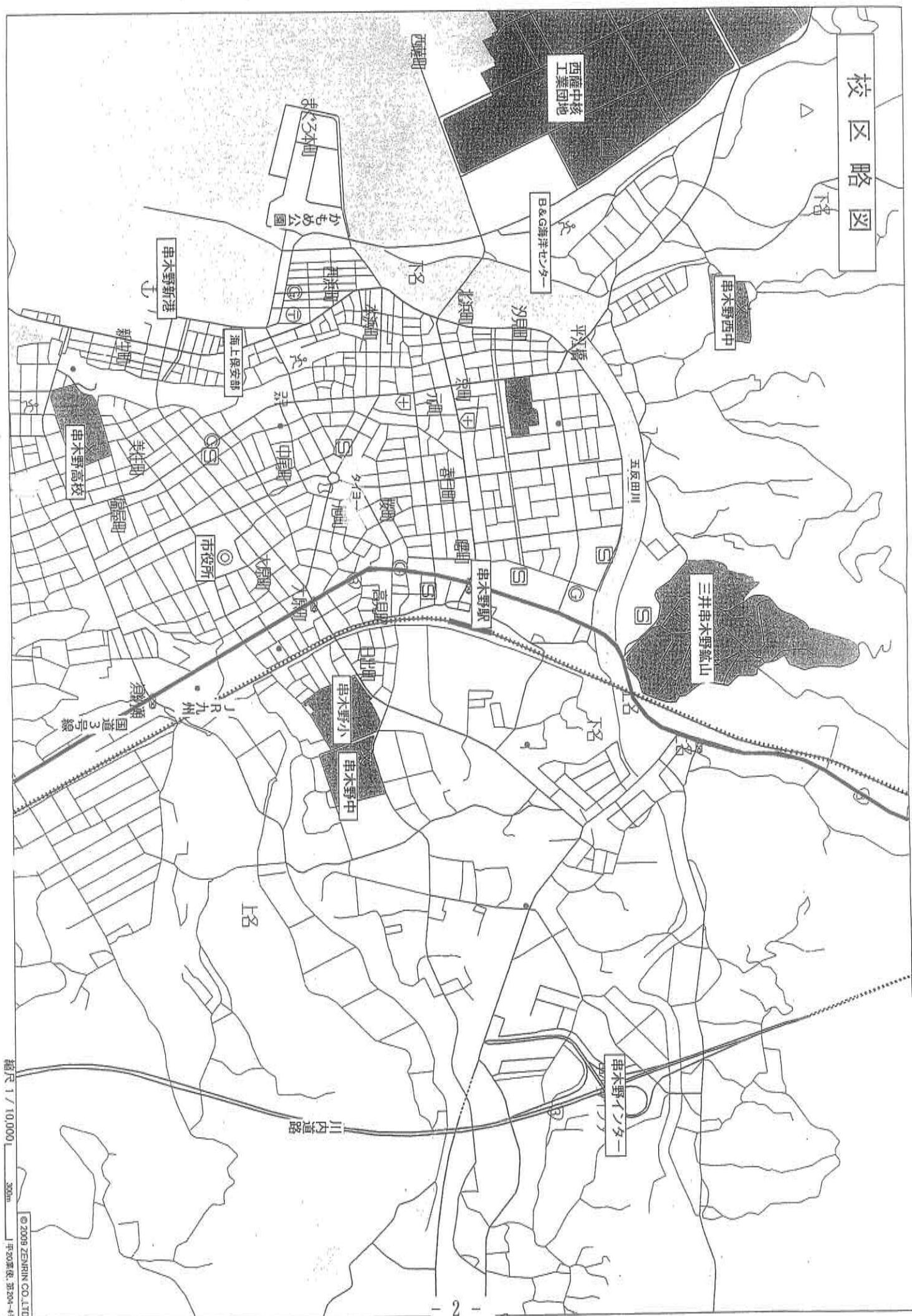
作詞 新屋敷幸繁  
作曲 田中義人

わがあけぼのーそらたかく  
かんむりだけをーあおぎつつ  
こがねーはなさくやまなみの  
すがたよろしきーくしきのこう

| 五    | 四    | 三     | 二     | 一     | 校 | 歌 | 作詞 | 作曲 |
|------|------|-------|-------|-------|---|---|----|----|
| わ南我  | 九港今  | わ知庭   | 心ゆ五   | 姿黄冠   |   |   |    |    |
| が日等伸 | 州乗は昔 | が徳の君  | をた反こ  | よ金岳わ  |   |   |    |    |
| 串本がび | 線り開  | 朝を桜の  | 合け田こ  | ろ花をが  |   |   |    |    |
| 木の力ゆ | に出く  | 夕みの恵  | わき川に  | し咲仰あ  |   |   |    |    |
| 野門世く | 沿する  | のが下み  | す国に   | きくぎけ  |   |   |    |    |
| を戸に末 | う父唐船 | かきかに  | 校旗を   | 串山つば  |   |   |    |    |
| かたたも | と母   | し体げか  | 二を水旗を | 木なつの  |   |   |    |    |
| がるてた | この野  | こをでんば | 千開注   | 野のみの  |   |   |    |    |
| やかせ  | ろ國の  | さねばし  | 人かんと  | 校の空高く |   |   |    |    |
|      |      | よる    | 立て    |       |   |   |    |    |

昭和六年六月十九日制定

校區略圖



# 学校の概要

## 1 校区の概要

### (1) 地域的環境

本校区は、市の中央区に位置している。周りを緑の山々が囲み、北に日本有数の歴史を誇る串木野金山があり、西は東シナ海に面した大型漁港がある。山・海・川の自然と歴史に恵まれている。また、九州の大動脈としての国道3号線、JR鹿児島本線が市の中央部を通り、国家石油地下備蓄基地、西薩中核工業団地、串木野新港が完成して市の活性化が期待されている。平成16年度には、西回り自動車道、串木野インターが開通した。

### (2) 社会的環境

本校は、串木野市の中心部に位置し、上名・大原・中央・本浦・野平の五つ地区町作り協議会からなっている。公的機関は、ほとんど本校区にあり、子どもたちの育成のためには整った環境である。住民は昔から住みついている人々が多く、自分たちの郷土をしての愛着心もあり、「自分たちの学校」という意識が強い。学校・家庭・地域の絆も固く、教育に关心と理解が深い。PTAの諸行事には積極的に参加して協力も惜しまない。

スポーツ少年団や社会体育等盛んであり、校区の理解ある指導者のもとで、青少年健全育成にも寄与している。

### (3) 本校の歴史

本校は明治2年、坂本六郎氏が達徳館を建て、これを起源（創始）としている。明治9年には串木野小学校と改名（開校）し、明治20年に現在の位置に建設された。この年を創立年としている。そして、現在の新校舎は平成12年に完成した。現在、本校は創始148年、開校143年、創立132年を誇っており、平成18年度には、120周年の記念行事を実施した。

児童数は、昭和35年度、2778人、学級数52を最高に現在減少傾向にあり、令和元年（平成31年）5月現在児童数601人、学級数23、PTA戸数451戸である。創立以来、多くの卒業生が県内はもとより全国各地で活躍している。また、創立と同時に植樹された、いちょう、けやき、せんだんの木は卒業生の思い出の樹木となっており、その木を頼って多くの卒業生が訪れ、昔のよき思い出に慕っている姿を見受ける。しかし、平成27年8月の台風により倒れてしまった大いちょうであったが、学校のシンボルを形にしてほしいとの卒業生の願いを受け、まな板として多くの方々に使用されているところである。

## 2 学校の沿革

- 明治 2年 坂本六郎氏が達徳館を建てる。
- 〃 7年 県第34郷校と改称
- 〃 9年 串木野小学校と改名
- 〃 20年 現在位置に建設。この年を創立記念とする。
- 〃 26年 尋常小学・高等小学に分かれる
- 〃 42年 男子尋常・女子尋常に分かれる。
- 大正14年 補習科・家政女学を創立
- 昭和11年 創立50周年記念館建設

- 昭和 16 年 国民学校と改称
- 〃 20 年 校舎の三分の二戦災を受け焼失
- 〃 22 年 六三三制実施 P T A 発足
- 〃 27 年 全国特選健康優良校表彰
- 〃 31 年 創立七十周年記念図書館充実
- 〃 36 年 プール施設完成 給食開始
- 〃 38 年 二階校舎取壊し鉄筋校舎 12 教室増築（第 3 号棟）
- 〃 39 年 鉄筋校舎 4 教室増築（第 4 号棟）
- 〃 41 年 創立八十周年プール竣工
- 〃 42 年 西側平屋校舎解体
- 〃 43 年 鉄筋校舎一棟 12 教室竣工（第 1 号棟）
- 〃 44 年 屋体建設のため記念館解体 屋体竣工
- 〃 49 年 校門横木造 宿直室解体
- 〃 50 年 校舎間渡り廊下（東側）完成
- 〃 51 年 創立 90 周年記念行事実行委員会発足  
　　プール更衣室新設・カラーテレビ 37 台購入、プレハブ 1 棟建設（24坪 792m<sup>2</sup>）
- 〃 53 年 牛乳保冷庫すえつけ、プール浄化装置取り替え
- 〃 54 年 体育倉庫改築 屋体東側便所改築
- 〃 55 年 給水施設設備（3号棟）
- 〃 56 年 MBC 合奏コンクール最優秀賞受賞（56年～59年）  
　　小鳥舎新設・受変電施設工事完了、スイングロープ及びコンビネーションプランコ新設
- 〃 57 年 県音楽研究協力校研究公開
- 〃 58 年 学校給食センター方式開始、県教委指定生徒指導研究協議会発足
- 〃 60 年 屋内運動場床張替・サッシ・外装・ステージ幕取替
- 〃 61 年 創立百周年記念行事、式典（プール・スタジオ・記念碑）
- 〃 62 年 日置地区「山坂達者」及び市体育協力校として研究公開
- 〃 63 年 県学校保健準優良校表彰
- 平成 元年 読書の森の施設設置、県学校保健準優良校受賞
- 〃 2 年 日置地区研究協力校道徳教育研究公開  
　　県学校保健準優良校受賞、第 41 回県図画作品展優良学校賞受賞
- 〃 3 年 JRC 登録式、青少年赤十字加盟、第 42 回県図画作品展優良学校賞受賞  
　　学校火災発生、4号棟 1 階図画工作室及び準備室全焼
- 〃 4 年 第 43 回県図画作品展優良学校賞受賞  
　　平成 4 年度学校基本調査（統計教育）文部大臣表彰
- 〃 5 年 日置地区「作文教育」研究協力校として研究公開、県学校保健準優良校受賞
- 〃 6 年 県理科教育日置地区大会授業提供（4・6年）、県学校保健準優良校受賞
- 〃 7 年 2号棟大規模改修工事完了、水洗トイレ完成（全て水洗化完了）  
　　体育施設説明板設置

- 平成 8年 日置地区「教育課程（国際理解教育）」研究協力校として研究公開  
県作曲コンクール学校賞受賞、南九州美展学校賞受賞
- 〃 9年 県学校保健優良校受賞、あいさつモデル道路設定
- 〃 10年 3号棟の一部、4号棟、5号棟を解体し、プレハブ棟を2棟設置  
新校舎建設工事、10月より開始、県学校保健優良校受賞
- 〃 11年 新校舎完成（特別教室、普通教室2）8月移転、県学校保健優良校受賞
- 〃 12年 南日本美術展学校賞  
「レッツ・ビギン！」英語に親しむデイリーライフ事業推進指定校  
新校舎（中校舎）完成・校舎落成式、県学校保健モデルスクール指定（平成12年度から3年間）
- 〃 13年 県教育長学校訪問
- 〃 14年 南日本硬筆展、第53回県図画工作展学校賞受賞  
「レッツ・ビギン！」英語に親しむデイリーライフ事業研究公開
- 〃 15年 市国語・道徳教育研究会授業公開、市学校保健優良校  
串木野市中央学童クラブ設置につき校庭南部角地を割譲
- 〃 16年 南日本硬筆展学校賞受賞、大・小プール全面改修  
JRC青少年赤十字活動の日置地区幹事校（平成16年度から3年間）
- 〃 17年 地区道徳教育研修会授業公開、県総合教育センター短期研修移動講座（英語活動）授業公開  
県PTA活動研究委嘱公開会場校
- 〃 18年 創立120周年記念（航空写真撮影・記念写真展）各教室に扇風機設置  
樹木剪定、市PTA活動研究委嘱公開会場校
- 〃 19年 校章の館完成、第58回県算数数学教育研究大会日置大会授業提供  
学校農園完成
- 〃 20年 串木野小学校環境緑化モデル事業及び学校環境緑化整備事業（緑の基金事業）完成
- 〃 21年 造形砂場設置
- 〃 22年 地上デジタルテレビ設置
- 〃 23年 MBCラジオ番組「みんなみんなにありがとう」出演
- 〃 24年 管理棟・屋内運動場耐震補強工事および大規模改修工事
- 〃 25年 県教育庁学校訪問 教育事務所・市育委員会合同訪問 県義務教育課学校訪問  
中プール塗装工事完了
- 〃 26年 通級教室（まなびの教室）開級 市道徳フォーラム会場校
- 〃 27年 鹿児島地区研究協力校「道徳教育」研究公開
- 〃 28年 創立130周年記念事業として、冷水機4台設置・PTAキャラクター「いらっしゃくん」と「きらりちゃん」完成
- 〃 29年 コミュニティースクール（学校運営協議会）の設置
- 〃 30年 第57回全日本学校歯科保健優良校表彰

## 3 歴代校長

| 代    | 氏名     | 在職               | 在職年数 |
|------|--------|------------------|------|
| 初代   | 入来嘉七郎  | 明治21年4月～明治25年3月  | 4    |
| 第2代  | 土持平一郎  | 明治25年4月～明治27年3月  | 2    |
| 第3代  | 堀之内床五郎 | 明治27年4月～明治31年3月  | 4    |
| 第4代  | 飯田祐一   | 明治31年4月～明治35年3月  | 4    |
| 第5代  | 加治木武助  | 明治35年4月～明治39年3月  | 4    |
| 第6代  | 山下虎之助  | 明治39年4月～明治41年3月  | 2    |
| 第7代  | 田中覚二   | 明治41年4月～明治43年3月  | 2    |
| 第8代  | 川畑佐吉   | 明治43年4月～大正10年3月  | 11   |
| 第9代  | 山元武雄   | 大正10年4月～大正14年3月  | 4    |
| 第10代 | 村山栄次   | 大正14年4月～昭和5年3月   | 5    |
| 第11代 | 时任時義   | 昭和5年4月～昭和16年3月   | 11   |
| 第12代 | 川辺辰美   | 昭和16年4月～昭和22年3月  | 6    |
| 第13代 | 宮路義朗   | 昭和22年4月～昭和24年3月  | 2    |
| 第14代 | 中原鎮男   | 昭和24年4月～昭和33年3月  | 9    |
| 第15代 | 田代巧    | 昭和33年4月～昭和38年3月  | 5    |
| 第16代 | 東行夫    | 昭和38年4月～昭和42年3月  | 4    |
| 第17代 | 石塚春夫   | 昭和42年4月～昭和45年3月  | 3    |
| 第18代 | 浅井清人   | 昭和45年4月～昭和48年3月  | 3    |
| 第19代 | 森山慶治   | 昭和48年4月～昭和50年12月 | 2.9  |
| 第20代 | 藤岡八十夫  | 昭和50年1月～昭和55年3月  | 4.3  |
| 第21代 | 平峯義行   | 昭和55年4月～昭和58年3月  | 3    |
| 第22代 | 難波亀壽   | 昭和58年4月～昭和61年3月  | 3    |
| 第23代 | 有村義昭   | 昭和61年4月～平成元年3月   | 3    |
| 第24代 | 中馬修    | 平成元年4月～平成4年3月    | 3    |
| 第25代 | 中間浩一郎  | 平成4年4月～平成6年3月    | 2    |
| 第26代 | 大重英樹   | 平成6年4月～平成9年3月    | 3    |
| 第27代 | 原口熙    | 平成9年4月～平成12年3月   | 3    |
| 第28代 | 川口公男   | 平成12年4月～平成15年3月  | 3    |
| 第29代 | 内匠生樹   | 平成15年4月～平成18年3月  | 3    |
| 第30代 | 小原一基   | 平成18年4月～平成21年3月  | 3    |
| 第31代 | 本車田省三  | 平成21年4月～平成24年3月  | 3    |
| 第32代 | 市原清志   | 平成24年4月～平成27年3月  | 3    |
| 第33代 | 永野三善   | 平成27年4月～平成29年3月  | 2    |
| 第34代 | 上園拓郎   | 平成29年4月～平成31年3月  | 2    |
| 第35代 | 藤山洋一   | 平成31年4月～         | 現在   |

# 令和元年度 学校経営理念・学校経営基本方針

## 1 学校経営の理念

小学校教育は、義務教育として行われる普通教育の基礎的なものを施すこと目的として、人権尊重、生命尊重の精神を基本に「生きる力」の育成を期し、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和のとれた児童の育成を図るために、子どもに寄り添う教育を「チーム串木野小」で推進する。

## 2 学校経営の基盤

### (1) 公教育の本質に立つ

- 教育基本法、学校教育法、学習指導要領に基づき、公教育の教育者の使命と自覚に立つ。
- 県教育委員会、市教育委員会の重点施策を踏まえる。

### (2) 伝統の創造的継承観と職員の総合・結集力に立つ

- 創立133年(開校144年)の歴史と伝統を受け継ぎ、未来指向の清新かつ活気と創造性に満ちた学校づくりを、研鑽と信頼で結ばれた職員の総合・結集力をもって推進する。

### (3) 実態と時代の要請に立つ

- 児童一人一人に寄り添い、児童と地域の実態を考慮し、保護者・地域住民の期待と時代の要請に立ち、コミュニティ・スクールとしての機能をもたせる。

## 3 学校教育目標

|          |  |                   |
|----------|--|-------------------|
| 校 訓      | よく考え<br>ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、自ら学ぶ串木野の子の育成 | 明るく すなおで<br>がんばる子 |
| キャッチフレーズ | 笑顔とあいさつと優しさいっぱいの学校                     |                   |

## 4 めざす子どもの姿

### ～「笑顔とあいさつと優しさいっぱい」の子どもたち～

| 子どもの姿                   | 達成目標   | 子どもの姿の具体化   |
|-------------------------|--|---|
| (よく考え)<br>すすんでまなぶ子      | 基礎学力を身に付け、自ら学び、自ら考え、自信をもち主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決できる。   | ・よく考え、まとめ、発表できる<br>・学習の決まりを守ることができる<br>・家庭学習がきちんとできる      |
| (明るく すなおで)<br>おもいやりのある子 | 自らを律し他人と協調しつつ、自他を愛し思いやる心や感動する心豊かな人間性と強い意志力をもつことができる。 | ・友だちと仲良く協力できる<br>・当たり前3か条ができる<br>・あいさつ・優しい言葉づかいができる       |
| (がんばる)<br>げんきな子         | たくましく生きるための健康や体力、危険予知回避能力を忍耐強く身に付けることができる。           | ・ねばり強く体力つくりができる<br>・「は・さ・み」を守ることができる<br>・病気・危険から身を守ることできる |

## 5 めざす学校像・学級の姿 ～子どもが行きたい学校・保護者が通わせたい学校・地域から愛される学校～

| 学 校 像                   | 学 年 | 学級（学年）の姿                      |
|-------------------------|-----|-------------------------------|
| おもいやりと活気のあふれる学校         |     | 仲良くなからをあわせて元気よく目標に向かって前進する学級  |
| 認め・支え合いながら学び、確かな学力を育む学校 |     | 進んで学習に励み、確実に一人一人が学力を身に付けていく学級 |
| 安全で美しく環境が整った学校          |     | 学習環境が整備され、明るく居心地の良い学級         |
| 家庭・地域社会に開かれ、地域のために動く学校  |     | 情報の相互交流があり保護者・地域との信頼で結ばれている学級 |

## 6 めざす教師像 ～ 子どもに寄り添い、自律向上心あふれる学び人～

| 求められる教師力 | 具体的な教師の姿                    |
|----------|-----------------------------|
| 人間性・教育愛  | 心身ともに健やかで豊かな人間性と教育愛にあふれる教師  |
| 社会性・職責感  | 社会性・職責感を備え、組織の一員として協力し合う教師  |
| 知見教養志向力  | 高い専門性と幅広い教養を身に付け、絶えず学び続ける教師 |

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 実践的指導力 | 創意工夫に努め、常に教育実践を通して、子どものよさをのばす教師 |
| 信頼感    | 子どもに敬愛され、地域住民や保護者の信頼に応える教師      |

## 7 めざす家庭像

- 一人一人が大事にされている家庭 ~親子のふれあいを大切にし、家族の絆を深め、命を育む家庭力を高める
- 基本的な生活習慣を身に付けさせる家庭 ~当たり前3か条・ノーメディアデー・タイムの実践を通して
- 学校・地域と積極的に連携する家庭 ~ 双方向の交流連携活動を密にすることを通して

## 8 学校経営方針

- (1) 清新にして活気あふれる特色ある学校づくりを、研鑽と信頼で結ばれた職員の総合力にて推進し、学校教育目標具現化を積極的に家庭・地域へ説明し、公教育の責任を果たしていく。また、コミュニティ・スクールとして学校運営協議会との連携を図る。
- (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導法の工夫改善を図り、基礎的基本的な知識及び技能を習得させ、活用力、思考力、判断力、表現力、その他の能力を高める学習活動を実践し、確かな学力を育成する。また、ＩＣＴ機器を効果的に活用した授業実践を行う。
- (3) 全教育活動において道徳教育、人権教育、生命尊重、規範意識の高揚が相互に作用し合い、自他の生き方を尊重し認め合う人権感覚に満ちた豊かな人間性、自己肯定感を養う。
- (4) 生徒指導において、基本的生活習慣、規則尊重の指導を徹底し、不登校・いじめ・問題行動等に適切に予防・対処できる全校体制を確立し、児童の道徳性を育む。
- (5) 体育・保健安全・基本的な生活習慣・食育に関する指導を保護者との連携を図りながら重点的に実施し、「生きる力」の支えとなる気力・体力を培い、総合的な健康力の向上を図る。
- (6) 一人一人のニーズに対応する特別教育支援体制を確立し、全校態勢で計画的・効果的運営の充実に努め、合理的配慮を行う。
- (7) 特別な教科道徳の教科書の有効活用や指導方法の改善を図り、道徳性の育成に努める。
- (8) 外国語・外国語活動の学習（新学習移行措置）の計画的移行を図り、ALT・AETとの連携を図るとともに、授業研究を行い教科の目的を達成できるように努める。
- (9) 地域・家庭とのネットワークを構築するとともに、総合的な学習の時間を中心とする教育活動で豊かな体験活動等を拡充し、郷土を愛し郷土を誇る、思考力、判断力、表現力豊かな児童の育成に努めるために学校応援団を活用する。
- (10) 安全を意識した施設設備点検と、美しく整備された教育環境づくりを推進する。
- (11) 小・小連携（アクア交流）、小・中連携の充実を図り、小中一貫教育を積極的に推進する。

## 9 重点課題・行動目標（アクションプラン）

| 課題   | 行動目標・アクションプラン   |
|--|---|
| (1) 「確かな学力」の定着を図る指導法の工夫改善<br><学力・学習意欲アップ><br>主体的・対話的で深い学びの授業<br>単元テスト（個々の期待点通過85%）<br>NRT検査（新成就値-3以上85%）<br>県学習定着度通過率（県平均並）<br>全国学力全国比率（県平均並）<br>*「自信」を付ける | ア 思考力、表現力を培う言語能力を育成する授業実践<br>☆ 考える・まとめる・広げる学習活動～聞く・話し合う・書く・発表する<br>① 授業充実5ポイント実践<br>[学習問題焦点化]→[解決方法設定]→[自力解決:状況把握]→[相互解決:意見交流・類型化]→[確かな定着・振り返り・家庭学習との連携]<br>② 学習終末段階の拡充（自己評価、成果発表、ポートフォーリオ等）<br>③ 総合的な学習の時間での体験的学習活動の関連強化<br>④ 全国・県過去問題、アシストシート、鹿児島チャレンジ、行政機関作成問題等の積極的活用<br>⑤ 各教科・学年部における実践の交流（校内研修、個人研修他）<br>• フレッシュ研修・パワーアップ研修、初任校研修他 |

\*個々の期待点  
= 80 × E S ÷ 50

|  |   |
|--|---|
|  | <p>イ 学力向上対策委員会による共通実践項目の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習基盤づくり 5 ポイントの定着徹底           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の準備 読み書き姿勢 聴き方 話し方 整理整頓</li> </ul> </li> <li>② 全国学力テスト、県学習状況調査、NRT の結果分析と検証</li> <li>③ 家庭学習の定着 目標値（学年×10+20） 個別課題</li> <li>④ 教科外時間の充実（国語タイム・算数タイム・放課後）</li> </ul> <p>ウ 学習指導法の工夫改善による個に応じた学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 指導法改善加配教員の工夫（習熟、TT）           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数科の個に応じた指導の充実、小中一貫教育の実践</li> </ul> </li> <li>② ICT を積極的に活用した授業方法改善の推進。</li> <li>③ 外国語、外国語活動の移行を踏まえた取組推進（AET 等との連携）</li> </ul> <p>エ 特別支援教育による個に応じ個が生きる活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 校内委員会運営の充実・強化</li> <li>② きめ細やかな特別支援学級運営の充実（交流学級との連携強化）</li> <li>③ 学びの教室・通級教室運営の適正化（学校内外通級体制整備）</li> <li>④ 特別教育支援員の効果的配置、担任との連携強化</li> <li>⑤ 養護学校・教委・医療機関等との連携による適切な就学指導推進</li> </ul> <p>オ 新聞等、情報媒体の活用・推進（NIE 教育…読解・表現力育成）</p> <p>カ 土曜授業（第 2 土曜日）実施による教育活動の充実（一部教科担任制）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 定着・活用学習の充実（計算・漢字、活用発展学習）</li> <li>② 総合的な学習の時間等による体験活動、地域人材活用学習</li> <li>③ 学校行事の教育効果向上に繋がる実施</li> </ul> |
| <p>（2） 豊かな人間性を育む教育の推進と自己指導能力を育む積極的生徒指導の充実<br/>＜思いやり・人権感覚アップ＞</p> <p>生徒指導事故への初期対応（100%）<br/>いじめ早期発見・解消（100%）<br/>不登校児童への対応（100%）<br/>問題行動早期発見・指導（100%）</p> <p>*道徳性の育成</p> | <p>ア 自他を尊重する言動（人権感覚）の向上を図る人権同和教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人権月間（8月）の研修、人権週間（12月）の取組</li> <li>② いじめ問題を考える週間</li> </ul> <p>イ 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 対話活動による授業設計と改善</li> <li>② 実践力の評価と生徒指導重点項目の関連強化</li> <li>③ 道徳教育推進環境の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心の教育週間」の取組充実 ○ 校内学級掲示の整備</li> <li>○ 新しい教科書教材研究、指導資料・指導図書等の活用</li> </ul> </li> </ul> <p>ウ にこにこ・きらめき学校宣言による、不登校・いじめ・問題行動等の未然防止への取組強化と即対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己指導力・自尊感情の育成をめざす支持的学級づくり</li> <li>② 特別活動、児童会活動と連動した全校推進体制づくり</li> <li>③ 生徒指導部会（定期）開催、ケース会議（随時）</li> <li>④ アンケートの工夫改善と活用の充実（県年1回・「学校楽しいーと」校内学期1回・毎月のアンケート）</li> <li>⑤ 適切な教育相談による実態把握と家庭との連携強化</li> <li>⑥ PTA活動、関係機関との連携強化（SSW SC 小中連携）</li> </ul> <p>エ 当たり前三か条の徹底「あいさつ 反事 整理整頓」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 挨拶運動の徹底（3SD あいさつ運動、あいさつ・きらめき運動）</li> <li>② 校内環境整備（靴・傘棚等の整理・美化の実践、掃除指導の充実）</li> <li>③ 廊下歩行（は・さ・み）の実践徹底</li> <li>④ 家庭・地域・機関との連携強化（公共規範、交通規則等）</li> </ul> <p>オ モーニングメッセージによる教員の心の交流</p>   |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>力 情報モラル学習の学年に応じた指導計画を推進（家庭との連携）</p> <p>キ 自主的実践的態度を培う特別活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童会活動の活性化（委員会活動、代表委員会活動等）</li> <li>ク 読書活動の強化推進<br/>読書量達成、選定図書 親子・家庭読書普及</li> </ul>  |
| (3) 健康や安全に気を付け、たくましく健やかに伸びる子の育成<br><br>＜健康・体力アップ＞<br><br>校内校外事故防止・対応(100%)<br>食アレルギー対応(100%)<br>う歯治療率 (80%)<br>がこしまチャレンジランキング取組(100%)<br><br>*「運動好き」な子に | <p>ア 正課体育授業の重点強化体力項目位置付けと全校体制共通実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 握力、持久力、俊敏性、投力</li> <li>イ 一校一運動(なわとび運動等)の充実…チャレンジかごしま活用</li> <li>ウ 保健衛生習慣の徹底（早寝・早起き・朝ご飯、手洗い・うがい等）</li> <li>○ 健康週間アンケートの実施と活用、生活のリズム表の活用</li> <li>エ 清掃（教児一体）指導の徹底、</li> <li>オ 健診後の措置指導の強化（家庭・PTA活動の連携）</li> <li>カ 安全指導・完全管理の徹底充実と安全体制の確立</li> <li>① マニュアル改善・定着を基にした避難・登下校指導の定着</li> <li>② 学校安全の日、KYT等による教児の危険予知回避能力の育成</li> <li>キ 栄養教諭・センターとの連携による食育指導（保健、給食、PTA活動）</li> <li>ク 学校保健委員会の活動による保護者との連携による取組強化</li> <li>ケ 緑化・花いっぱい活動推進（学級園、一人一鉢、蝶の館、樹木園等）</li> </ul>   |
| (4) 郷土・地域との結び付き<br>一人一人が輝く特色ある教育活動の推進<br><br>【きらめき串木野っ子プラン】<br><br>保護者アンケート回収率(80%)<br>保護者授業参観等出席率(80%)<br><br>*地域に開かれた学校                               | <p>ア 教科・総合的な学習の時間・特別活動による体験活動の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 全教育活動における学校応援団事業の活用（全学年で） <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体（婦人会等）との連携</li> <li>② 福祉施設との連携、福祉活動との関連強化（活動開発）</li> <li>③ さのさ集会、さのさ踊り伝承活動充実（運動会、さのさ祭り）</li> <li>④ 農産業体験（農園、自然体験活動）サツマイモ栽培等</li> <li>⑤ 関係機関連携事業推進（例；アマ藻シート・マグロ体験（5年）、救急救命法（6年）、お茶とふれあい授業（5年）、JICA（OB留学生）授業（6年）、英国留学生記念館見学学習（6年）、旗染め体験（6年））</li> </ul> </li> <li>イ 外国語活動の推進による国際理解・コミュニケーション力強化</li> <li>ウ 社協、赤十字社との連携による福祉活動（JRC活動）の強化</li> <li>エ 社会教育、社会体育団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 音楽芸術活動を中心とする教育活動支援（吹奏バンド活動等）</li> <li>② 体育協会、スポーツ少年団活動の連携</li> </ul> </li> <li>オ 教育活動広報活動の工夫改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームページ、学校便り、学級通信、各係りたよりの改善</li> </ul> </li> <li>カ 幼保、小中高連携事業の設定と実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 小中一貫教育協議会（両中学校区）（外国語、算数・数学） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季合同研修会の実施と充実</li> <li>・ 教員の乗り入れ授業（交流授業）の実施</li> <li>・ 児童・生徒の交流活動の推進</li> </ul> </li> <li>② 小小交流（アクア交流）幼保活動との交流・情報交換推進（各事業、連絡会等）</li> </ul> </li> <li>キ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の内容改善・推進及び啓発広報活動</li> </ul> |

平成31年度 串木野小学校 学校経営グランドデザイン

|  |  |   |
|--|--|---|
| 校訓   | よく考え<br>明るくすなおで<br>がんばる子                             |   |
| 学校教育目標   | ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、自ら学ぶ串木野の子の育成                       |   |
| キャッチフレーズ～笑顔とあいさつと優しさいっぱいの学校<br>めざす子どもの姿～「笑顔とあいさつと優しさいっぱい」の子どもたち～ |  |   |
| 子どもの姿  | 達成目標   | 子どもの姿の具体化   |
| 【よく考え】<br>すすんでまなぶ子   | 基礎学力を身に付け、自ら学び、自ら考え、自信をもち主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決できる。   | ○よく考えまとめて発表できる。<br>○学習の決まりを守ることができる。<br>○家庭学習がきちんとできる。        |
| 【明るくすなおで】<br>おもいやりのある子   | 自らを律し他人と協調しつつ、自他を愛し思いやる心や感動する心豊かな人間性と強い意志力をもつことができる。 | ○友だちと仲良く協力できる。<br>○当たり前3か条ができる。<br>○あいさつ・優しい言葉づかいができる。        |
| 【がんばる子】<br>げんきな子   | たくましく生きるために健康や体力、危険予知回避能力を忍耐強く身に付けることができる。           | ○ねばり強く体力つくりができる。<br>○「は・さ・み」を守ることができます。<br>○病気・危険から身を守ることできる。 |

めざす学校像・学級の姿～子どもが行きたい学校・保護者が通わせたい学校・地域から愛される学校～

| 学校像                      | 学級(学年)の姿                       |
|--------------------------|--------------------------------|
| ○おもいやりと活気のある学校           | ☆仲良くながらあわせて元気よく目標に向かって前進する学級   |
| ○認め・支え合いながら学び、確かな学力を育む学校 | ☆進んで学習に励み、確実に一人一人が学力を身に付けていく学級 |
| ○安全で美しく環境が整った学校          | ☆学習環境が整備され、明るく居心地の良い学級         |
| ○家庭・地域社会に開かれ、地域のために働く学校  | ☆情報の相互交流があり保護者・地域との信頼で結ばれている学級 |

めざす教師像～子どもに寄り添い、自律向上心あふれる学び人～

| 求められる教師力 | 具体的な教師の姿                        |
|----------|---------------------------------|
| 人間性・教育愛  | 心身ともに健やかで豊かな人間性と教育愛にあふれる教師      |
| 社会性・職責感  | 社会性・職責感を備え、組織の一員として協力し合う教師      |
| 知見教養志向力  | 高い専門性と幅広い教養を身に付け、絶えず学び続ける教師     |
| 実践的指導力   | 創意工夫に努め、常に教育実践を通して、子どものよさをのばす教師 |
| 信頼感      | 子どもに敬愛され、地域住民や保護者の信頼に応える教師      |

|        |                    |                                   |
|--------|--------------------|-----------------------------------|
| めざす家庭像 | 一人一人が大事にされている家庭    | ～親子のふれあいを大切にし、家族の絆を深め、命を育む家庭力を高める |
|        | 基本的な生活習慣を身に付けさせる家庭 | ～我が家の当たり前3か条・ノーメディアデー・タイムの実践を通して  |
|        | 学校・地域と積極的に連携する家庭   | ～双方向の交流連携活動を密にすることを通して            |

## 串木野小コミュニティスクール(学校運営協議会)

| 重点課題1   | 重点課題2  | 重点課題3                                       |
|---|--|---|
| 学力・学習意欲アップ<br><br>主体的・対話的で深い学びの授業実践、確かな学力の定着を図る指導法の工夫改善 | 人権感覚の思いやりアップ<br><br>豊かな人間性を育む心の教育の推進と自己指導能力を育む積極的生徒指導の充実 | 健康・体力アップ<br><br>健康や安全に気を付け、たくましく健やかに伸びる子の育成 |

|  |   |   |
|--|---|---|
| 単元テスト（個々の期待点通過85%）<br>NRT検査（新成績値-3以上85%）<br>鹿児島学習状況通過率（県平均並）<br>全国学力状況調査率（県平均並）<br>*「自信」を付ける | 生徒指導事故への初期対応（100%）<br>いじめ早期発見・解消（100%）<br>不登校児童への対応（100%）<br>問題行動早期発見・指導（100%）<br>*「道徳性」の育成 | 校内校外事故防止・対応（100%）<br>食アレルギー対応（100%）<br>う歯治療率（80%）<br>チャレンジ「かごしまランキンク」取組（100%）<br>*「運動好き」な子に |
|  |   | 重点課題4<br><br>きらめき串木野っ子プラン   |

### 【学校経営理念】

小学校教育は、義務教育として行われる普通教育の基礎的なものを施すことを中心として、人権尊重、生命尊重の精神を基本に「生きる力」の育成を期し、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和のとれた児童の育成を図るため、子どもに寄り添う教育を「チーム串木野小」として推進する。

|                                      |
|--------------------------------------|
| 郷土・地域との結びつく特色ある教育活動の推進               |
| 保護者アンケート回収率（80%）<br>保護者授業参観等出席率（80%） |
| *地域に開かれた学校                           |

### \*平成31年度の留意点

- 新学習指導要領改定への対応  
・各教科移行措置の計画的実施  
・外國語活動・外國語科の充実  
\*H31-H33地区研究協力校
- 特別支援教育の充実
- 小中一貫教育の推進（串木野中校区公開）
- 学校運営協議会の充実

## 学年目標

### 学校教育目標

ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、自ら学ぶ串木野の子の育成

### 校 訓

よく考え、明るくすなおで、がんばる子

### 児童像

すすんでもなぶ子  
(よく考え)

- 基礎学力を身に付け、自ら学び、自ら考え、自信をもち主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決できる。
  - ◎ 重点事項
    - ・よく考え、まとめ、発表できる。
    - ・学習の決まりを守ることができる。
    - ・家庭学習がきちんとできる。

おもいやりのある子  
(明るくすなおで)

- 自らを律し、他人と協調しつつ、自他を愛し、思いやる心や感動する心豊かな人間性と強い意志力をもつことができる。
  - ◎ 重点事項
    - ・友達と仲良く協力できる。
    - ・当たり前3か条ができる。
    - ・あいさつ・優しい言葉づかいができる。

げんきな子  
(がんばる)

- たくましく生きるために健康や体力、危険予知回避能力を忍耐強く身に付けることができる。
  - ◎ 重点事項
    - ・ねばり強く体力つくりができる。
    - ・は（走らない）さ（騒がない）み（右側通行）を守ることができる。
    - ・病気・危険から身を守ることができます。

### (1) すすんでもなぶ子

|    |                                     |   |                         |
|----|-------------------------------------|---|-------------------------|
| 学年 | ○ よく考え、まとめ、発表できる。                   | ○ 学習の決まりを守ることができる。                          | ○ 家庭学習がきちんとできる。         |
| 一年 | ○ よく聞き、大きな声で発表できる。                  | ○ 授業前に座席について待ち、正しい姿勢、正しい鉛筆のにぎりで書くことができる。    | ○ 30分以上（読書を含む）家庭学習ができる。 |
| 二年 | ○ よく聞き、最後まではっきりと発表できる。              | ○ 授業前に座席について静かに待ち、正しい姿勢、正しい鉛筆のにぎりで書くことができる。 | ○ 40分以上（読書を含む）家庭学習ができる。 |
| 三年 | ○ よく聞き、発表話型を意識して発表ができる。             | ○ 必要な学習用具を机上にきちんと並べて用意することができる。             | ○ 50分以上（読書を含む）家庭学習ができる。 |
| 四年 | ○ よく聞き、考えたことを筋道を立てて発表できる。           | ○ 必要な学習用具を机上にきちんと並べて用意することができる。             | ○ 60分以上（読書を含む）家庭学習ができる。 |
| 五年 | ○ 人の考え方と比べながら違いをはっきりさせて分かりやすく発表できる。 | ○ 授業に望ましい態度で、意欲的に取り組むことができる。                | ○ 70分以上（読書を含む）家庭学習ができる。 |
| 六年 | ○ 人の考え方と比べながら違いをはっきりさせて分かりやすく発表できる。 | ○ 授業に望ましい態度で、意欲的に取り組むことができる。                | ○ 80分以上（読書を含む）家庭学習ができる。 |

## (2) おもいやりのある子

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 学年 | ◎ 友達と仲良く協力できる。<br><br>○ 誰とでも仲良く遊ぶことができる。 | ◎ 当たり前3ヶ条ができる。<br><br>○ 大きな声でいさつや返事ができ、使ったものの後片づけができる。 | ◎ やさしい言葉づかいができる。<br><br>○ 「さん」をつけて名前を呼ぶことができる。 |
| 一年 | ○ 誰とでも仲良く遊ぶことができる。                       | ○ 自分から進んで元気よくいさつや返事ができ、使ったものの後片づけができる。                 | ○ 相手の気持ちを考えた言葉づかいができる。                         |
| 二年 | ○ 誰とでも仲良く遊ぶことができる。                       | ○ 意見を出し合い、よく話し合って、活動できる。                               | ○ 相手の気持ちを思いやった言葉づかいができる。                       |
| 三年 | ○ 意見を出し合い、よく話し合って、活動できる。                 | ○ 気持ちはよくいさつや返事ができ、身の回りの整理整頓ができる。                       | ○ 相手の気持ちを思いやった言葉づかいができる。                       |
| 四年 | ○ 意見を出し合い、よく話し合って、活動できる。                 | ○ 気持ちはよくいさつや返事ができ、身の回りの整理整頓ができる。                       | ○ 相手の気持ちを思いやった言葉づかいができる。                       |
| 五年 | ○ 相手の立場や考え方を理解し、お互いに協力して活動できる。           | ○ 進んで気持ちよいいさつや返事ができ、身の回りの整理整頓ができる。                     | ○ 相手や場に応じた、正しい言葉づかいができる。                       |
| 六年 | ○ 相手の立場や考え方を理解し、お互いに協力して活動できる。           | ○ 進んで気持ちよいいさつや返事ができ、身の回りの整理整頓ができる。                     | ○ 相手や場に応じた、正しい言葉づかいができる。                       |

## (3) げんきな子

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 学年 | ◎ ねばり強く体力つくりができる。<br><br>○ すすんで体力つくり(なわとび等)に取り組むことができる。 | ◎ は(走らない)さ(騒がない)み(右側通行)を守ることができます。<br><br>○ 廊下や階段の右側を静かに歩くことができる。 | ◎ 病気・危険から身を守ることができます。<br><br>○ 手洗い・うがい・歯磨きをきちんと行い、落ち着いて行動できる。 |
| 一年 | ○ すすんで体力つくり(なわとび等)に取り組むことができる。                          | ○ 廊下や階段の右側を静かに歩くことができる。   | ○ 手洗い・うがい・歯磨きをきちんと行い、落ち着いて行動できる。                              |
| 二年 | ○ すすんで体力つくり(なわとび等)に取り組むことができる。                          | ○ 廊下や階段の右側を静かに歩くことができる。   | ○ 手洗い・うがい・歯磨きをきちんと行い、落ち着いて行動できる。                              |
| 三年 | ○ 体力つくり(なわとび等)のめあてを決めて練習できる。                            | ○ 廊下や階段を静かに歩き、考えて行動できる。   | ○ 自分の体について知り、治療や予防を心がけるとともに、危険な場所や遊びが分かり行動できる。                |
| 四年 | ○ 体力つくり(なわとび等)のめあてを決めて続けて練習できる。                         | ○ 廊下や階段を静かに歩き、考えて行動できる。   | ○ 自分の体について知り、治療や予防を心がけるとともに、危険な場所や遊びが分かり行動できる。                |
| 五年 | ○ より高いめあてを立て、体力つくり(なわとび等)に取り組むことができる。                   | ○ 廊下や階段での過ごし方にについて自分で考え、下級生に模範的な行動ができる。                           | ○ 健康的な生活を行い、ルールを守り、危険を回避する模範的な行動ができる。                         |
| 六年 | ○ より高いめあてを立て、体力つくり(なわとび等)に取り組むことができる。                   | ○ 廊下や階段での過ごし方にについて自分で考え、下級生に模範的な行動ができる。                           | ○ 健康的な生活を行い、ルールを守り、危険を回避する模範的な行動ができる。                         |

### 学年別授業実施予定時数

|            |             |        | 1年   | 2年   | 3年   | 4年   | 5年   | 6年   |  |
|------------|-------------|--------|------|------|------|------|------|------|--|
| A          | 総授業時数       |        | 1010 | 1051 | 1091 | 1133 | 1172 | 1166 |  |
| B          | 超過・欠時数      |        | -36  | -28  | -32  | -29  | -37  | -33  |  |
| C          | 授業可能時数(A+B) |        | 974  | 1023 | 1059 | 1104 | 1135 | 1133 |  |
| D          | 計画時数 (F+G)  |        | 906  | 966  | 1014 | 1056 | 1075 | 1070 |  |
| F<br>別表時数  | 各教科         | 国語     | 306  | 315  | 245  | 245  | 175  | 175  |  |
|            |             | 社会     |      |      | 70   | 90   | 100  | 105  |  |
|            |             | 算数     | 136  | 175  | 175  | 175  | 175  | 175  |  |
|            |             | 理科     |      |      | 90   | 105  | 105  | 105  |  |
|            |             | 生活     | 102  | 105  |      |      |      |      |  |
|            |             | 音楽     | 68   | 70   | 60   | 60   | 50   | 50   |  |
|            |             | 図工     | 68   | 70   | 60   | 60   | 50   | 50   |  |
|            |             | 家庭     |      |      |      |      | 60   | 55   |  |
|            |             | 体育     | 102  | 105  | 105  | 105  | 90   | 90   |  |
|            |             | 外国語    |      |      |      |      | 70   | 70   |  |
| F1 小計      |             |        | 782  | 840  | 805  | 840  | 875  | 875  |  |
| 教科外        |             | 道徳     | 34   | 35   | 35   | 35   | 35   | 35   |  |
|            |             | 学級活動   | 34   | 35   | 35   | 35   | 35   | 35   |  |
|            |             | 総合的な学習 |      |      | 62   | 62   | 55   | 55   |  |
|            |             | 外国語活動  |      |      | 35   | 35   |      |      |  |
| F2 小計      |             |        | 68   | 70   | 167  | 167  | 125  | 125  |  |
| 累計(F1+F2)  |             |        | 850  | 910  | 972  | 1007 | 1000 | 1000 |  |
| G<br>別表外時数 | G1 児童会活動    |        | 3    | 3    | 3    | 3    | 14   | 14   |  |
|            | G2 クラブ活動    |        |      |      |      | 6    | 6    | 6    |  |
|            | G3 学校行事     |        | 40   | 40   | 39   | 40   | 55   | 50   |  |
|            | G4 創意活動     |        | 13   | 13   |      |      |      |      |  |
|            | 小計          |        | 56   | 56   | 42   | 49   | 75   | 70   |  |
| 予備時数       |             |        | 68   | 57   | 45   | 48   | 60   | 63   |  |

平成31年度 日課表(A校時)

| 曜日     | 時間 | 月   | 火              | 水     | 木     | 金             | 土                      |
|--------|----|---|----------------|-------|-------|---------------|------------------------|
| 8:15   | 10 |   |                |       |       |               |                        |
| 8:25   | 5  |   |                |       |       |               |                        |
| 8:30   | 10 | ①全校朝会<br>②児童集会<br>③全校朝会<br>④係・委員会活動<br>⑤係・委員会活動 | 職員連絡会<br>(読書)  | 算数タイム | 国語タイム | 職員連絡会<br>(読書) | 移動・準備                  |
| ふれあい活動 |    |   |                |       |       |               | 1校時                    |
| 8:40   | 5  |   | 移動・準備          |       |       |               |                        |
| 8:45   | 45 |   |                | 1校時   |       |               | 9:15~9:25 準備           |
| 9:30   | 10 |   | 移動・準備          |       |       |               |                        |
| 9:40   | 45 |   |                | 2校時   |       |               | 10:10~10:25 準備         |
| 10:25  | 15 |   | (学年間連絡会・移動・準備) |       |       |               |                        |
| 10:40  | 45 |   |                | 3校時   |       |               | 11:10~11:25 帰りの会<br>下校 |
| 11:25  | 10 |   | 移動・準備          |       |       |               |                        |
| 11:35  | 45 |   |                | 4校時   |       |               | 学級事務                   |
| 12:20  | 45 |   | 給食 (各配属学級)     |       |       |               | 12:05退庁                |
| 13:05  | 45 |   | 休憩             |       |       |               |                        |
| 13:50  | 15 |   | 清掃活動           |       |       |               |                        |
| 14:05  | 5  |   | 移動・準備          |       |       |               |                        |
| 14:10  | 45 |   |                | 5校時   |       |               |                        |
| 14:55  | 5  |   |                |       |       |               |                        |
| 15:00  |    | 帰りの会  | 帰りの会           | 移動・準備 |       |               |                        |
| 15:10  |    |   |                |       |       |               |                        |
| 15:15  | 45 |   | 移動・準備          |       |       |               |                        |
| 15:30  |    |   |                | 6校時   |       |               |                        |
| 15:45  | 15 |   |                |       |       |               |                        |
| 16:00  | 10 |   |                |       |       |               |                        |
| 16:10  |    |   |                |       |       |               |                        |
| 16:45  |    |   |                |       |       |               |                        |

※6月の第4週、12月、2月の第3週の放課後に「個別学習週間(木金)」を設定する。

※国語タイム(例) 音読・暗唱・漢字テスト、読み取り練習、聴書、過去問題、テストの答え合わせ等

※算数タイム(例) 計算プリントを中心に行う。前週の復習、過去問題、アシストシート、テストの答え合わせ等

※学年裁量 ちょボラ、エンカウンターゲーム等

## 令和元年度学級編成・職員一覧

(平成31年4月5日現在)

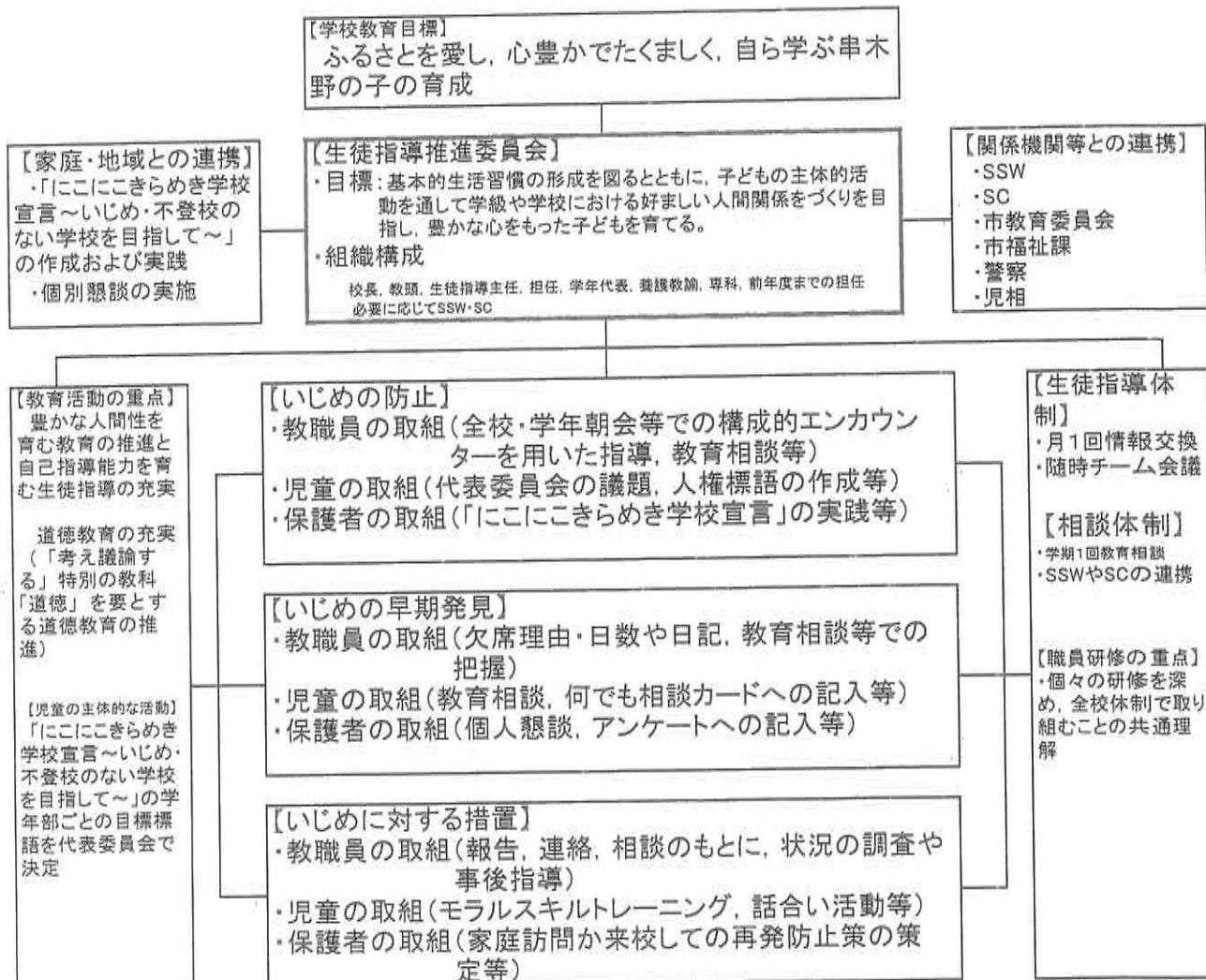
| 学年             | 組   | 在籍数 |     |      | 担任氏名  | 専科等       |       |
|----------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-------|
|                |     | 男   | 女   | 計    |       |           |       |
| 一年             | 1   | 14  | 12  | 26   | 永坂憲一郎 | 校長        | 藤山洋一  |
|                | 2   | 13  | 13  | 26   | 古田麻里  | 教頭        | 中島清昌  |
|                | 3   | 13  | 13  | 26   | 領家栄昭  | 理科専科      | 有留毅   |
|                | 4   | 13  | 13  | 26   | 今村美咲  | 音楽専科      | 吉富雅代  |
|                | 計   | 53  | 51  | 104  |       | 少人数指導     | 米山修一  |
| 二年             | 1   | 15  | 12  | 27   | 山之内治  | 少人数指導     | 萩内和代  |
|                | 2   | 15  | 11  | 26   | 丸田由子  | 養護教諭      | 吉永由美  |
|                | 3   | 15  | 11  | 26   | 徳留大希  | 専門員       | 山下真吾  |
|                | 4   | 14  | 12  | 26   | 溝辺典子  | 栄養教諭      | 福田恵子  |
|                | 計   | 59  | 46  | 105  |       | 学校主事      | 岩崎まき子 |
| 三年             | 1   | 19  | 16  | 35   | 田上大樹  | 司書補       | 富田万里子 |
|                | 2   | 18  | 16  | 34   | 藤田知子  | 購買部       | 猪俣邦代  |
|                | 3   | 18  | 16  | 34   | 上野貴弘  | 教諭(育児休業)  | 今堀幸菜  |
|                | 計   | 55  | 48  | 103  |       | 特別支援教育支援員 | 山下香名子 |
| 四年             | 1   | 16  | 15  | 31   | 永山暁子  | 特別支援教育支援員 | 桃北美穂  |
|                | 2   | 15  | 17  | 32   | 上野忠文  | 特別支援教育支援員 | 田丸ゆかり |
|                | 3   | 16  | 16  | 32   | 吉村秀隆  | 特別支援教育支援員 | 河野さおり |
|                | 計   | 47  | 48  | 95   |       |           |       |
| 五年             | 1   | 18  | 18  | 36   | 小池晃一  | 校医等       |       |
|                | 2   | 18  | 19  | 37   | 森渚沙   | 内科        | 平川立身  |
|                | 3   | 18  | 19  | 37   | 石原拓馬  | 内科        | 有川清猛  |
|                | 計   | 54  | 56  | 110  |       | 内科        | 福元隆史  |
| 六年             | 1   | 14  | 14  | 28   | 中屋敷淳  | 内科        | 本田昭彦  |
|                | 2   | 14  | 14  | 28   | 下川知紀  | 内科        | 久米浩太  |
|                | 3   | 14  | 14  | 28   | 脇俊子   | 歯科        | 井上敬博  |
|                | 計   | 42  | 42  | 84   |       | 歯科        | 高畠哲朗  |
| ひまわり           | (4) | (2) | (6) | 石山孝雄 | 歯科    | 江藤克己      |       |
| たんぽぽ           | (6) | (1) | (7) | 伊藤真紀 | 眼科    | 勝目紀一      |       |
| あおぞら           | (2) | (2) | (4) | 永井艶子 | 耳鼻科   | 伊東一則      |       |
| 通級指導教室「まなびの教室」 |     |     |     | 兒玉明子 | 薬剤師   | 岩崎弘樹      |       |
| 在籍数            | 310 | 291 | 601 |      |       |           |       |

※特別支援学級( )は再掲

いちき串木野市立串木野小学校

平成31年度校務分掌

# 串木野小学校いじめ防止基本方針(平成31年3月改正)



## 〈いじめの防止等の対策に関する基本理念〉

いじめは、全ての児童の人権に関わる重大な問題である。いじめの防止等の対策は、全ての児童が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

また、全ての児童がいじめを行はず、いじめを認識しながら放置することがないよう、いじめの防止等の対策は、いじめが、いじめられた児童の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童一人一人が十分に理解できるようにすることを旨としなければならない。

加えて、いじめの防止等の対策は、いじめを受けた児童の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭、その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

### 【地域や家庭との連携】

社会全体で児童を見守り、健やかな成長を促すため、地域、家庭と連携した対策を推進する。また、より多くの大人が子どもの悩みや相談を受け止めることができるようにするために、学校と地域、家庭が組織的に連携・協働する体制を構築する。

・PTA(役員、学級PTA、PTA生活指導部)

※PTAの協力を必ず得る。

・学校運営協議会

・民生委員、主任児童委員

・市校外生活指導連絡協議会 等

### 【生徒指導推進委員会】

#### いじめ防止体制

生徒指導推進委員会をいじめ防止体制の中核とし、いじめ対策年間計画を作成・実行する。また、学期ごとに取組を検証し(学校評価)実効的ないじめ防止体制を保持する。

#### 組織構成

校長、教頭、生徒指導主任、担任、学年代表、養護教諭、専科、前年度までの担任、必要に応じてSSW・SC、その他必要に応じた関係者及び外部専門家を加える。

### 【関係機関との連携】

いじめ問題への対応においては、いじめる児童に対して必要な教育上の指導を行っているにもかかわらず、その指導により十分な効果を上げることが困難な場合には、関係機関(警察、児童相談所、医療・福祉機関、法務局など)との適切な連携を図る。

○SSW ○SC

○市教育委員会 ○市福祉課

○児童相談所 ○法務局

○警察

○医療・福祉機関 等

### 【いじめの防止】

いじめは、どの子どもにも起こりうることを踏まえ、より根本的ないじめの問題克服のために、全ての児童を対象としたいじめの未然防止の観点が重要であり、全ての児童を、いじめに向かわせることなく、心の通う対人関係を構築できる社会性のある大人へと育み、いじめを生まない土壌を作るために、関係者が一体となつた継続的な取組を実践する。

### 【いじめの早期発見】

いじめの早期発見は、いじめへの迅速な対処の前提であり、全ての大人が連携し、児童のささいな変化に気付く力を高める取組を推進する。

また、迅速に対応することを徹底するために、アンケートの実施や教育相談等の充実を図り、児童がいじめを訴えやすい体制を整えるとともに、地域、家庭と連携して児童を見守る取組を実践する。

### 【いじめに対する措置】

いじめがあることが確認された場合、学校は直ちに、いじめを受けた児童やいじめを知らせてきた児童の安全を確保し、いじめたとされる児童に対して事情を確認した上で適切に指導するなど、組織的な対応を行う取組を推進する。

また、家庭や市教育委員会への連絡・相談や、事案に応じ、関係機関との連携を図る。

- ※ 「いじめ」とは、児童等に対して当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。(いじめ防止対策推進法第2条)
- ※ 教職員がいじめの情報を学校内で情報共有しないことは、いじめ防止対策推進法の規定に違反し得る。(学校のいじめ対策組織・いじめの情報共有)

## 1 いじめの防止

- (1) 学校の教育活動全体を通じ、全ての児童に「いじめは決して許されない」ことの理解を促し、児童の豊かな情操や道徳心、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を尊重し合える態度など、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養う取組を推進する。(仲介者を育てる。)
- (2) いじめの背景にあるストレス等の要因に着目し、その改善を図り、ストレスに適切に対処できる力を育む取組を推進する。
- (3) 未然防止の観点から、全ての児童が安心でき、健全な自尊心を育むことができる学校生活にするための基盤づくりに努める。
- (4) いじめの問題への取組の重要性について保護者はもちろん地域住民に認識を広め、地域、家庭と一体となって取組を推進するための普及啓発に努める。

### 【具体的取組】

- 「いじめ問題を考える週間」における全学年での授業及び参観日の授業公開（9月）
- 「心の教育週間」の設定と道徳授業の公開（11月）
- 教育相談でのラポートづくり
- 校内人権週間及び人権月間（12月）の取組
- 特別の教科「道徳」、特別活動、各教科指導の場における児童自らいじめ問題について考え、議論する活動の充実
- 県教委「いじめ対策必携」・文科省「生徒指導提要」・生徒指導リーフの活用
- 携帯・インターネットに関する調査、学校ネットパトロール調査結果を生かした考察・活用
- モラルスキルトレーニング、アサーショントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等の年間計画への位置付け
- PTA総会・学級PTA・学校だより・学校HP等各種広報による啓発

## 2 いじめの早期発見

- (1) いじめは大人の目に付きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけ合いを装って行われたりするなど、大人が気付きにくく判断しにくい形で行われることを認識し、些細な兆候であっても、いじめではないかとの疑いをもって、早い段階からの確に関わりをもち、いじめを隠したり軽視したりすることなく積極的に認知する取組に徹する。
- (2) いじめであるか否かの判断は組織的に行なうことが重要であり、個人で判断せず、全ての組織に報告・相談し、複数の教職員が個別に認知した情報の集約と共有化を図る。
- (3) いじめの早期発見のため、定期的なアンケート調査や教育相談の実施、電話相談窓口の周知等により、児童がいじめを訴えやすい体制を整えるとともに、地域、家庭と連携して児童を見守る環境づくりに努める。

### 【具体的取組】

- 生徒指導推進委員会における情報交換及び事例研修
- 夏季休業中における教育相談の実施
- 「毎月アンケート（無記名）」「何でも相談カード」での実態把握
- 「学校楽しいーと」、県いじめ調査の実施・分析・実態把握
- 子ども一人一人の思いをしっかりと聞き取るための個人面談の実施

### 3 いじめへの対処

- (1) 教職員は平素より、いじめを把握した場合の対処の在り方について、理解を深めておく。また、学校における組織的な対応を可能とするような体制を整備しておく。
- (2) いじめに対する措置として、いじめの発見・通報を受けた場合には、特定の教職員で抱え込みます、速やかに組織的に対応し、被害児童を守り通し、児童及び保護者に対する継続的で丁寧な支援をするとともに、加害児童に対しては、当該児童の人格の成長を旨として、教育的配慮の下、毅然とした態度で指導する。これらの対応について、教職員全員の共通理解、保護者の協力、関係機関・専門機関との連携の下で取り組む。

#### 【具体的取組】

- 年度当初の職員会議（基本方針やいじめ対策必携・共通理解事項の確認）
- 事例研修による教職員のスキルアップ
- 生徒指導推進委員会における懸案事項の周知
- 「学校楽しいーと」、「何でも相談カード」、県いじめ調査の分析・実態把握
- 生徒指導支援委員会、ケース会議による事案の分析・手立ての検討及び全職員への周知

### 4 地域や家庭との連携

- (1) いじめについては、「どの学校でも、どの子にも起こり得る」、「ネット上のいじめなどで、ますます見えにくくなっている」、「まだ気付いていないいじめがある」、「1件でも多く発見し、1件でも多く解消する」との基本姿勢をもち、学校では軽微なことでも全職員で対応していくことを家庭や地域に十分に理解してもらう機会をもつ。
- (2) いじめに関して、学校は「いじめられている児童を絶対守る」姿勢を貫くことや、いじめている児童に対しては、教育的配慮に十分留意し、状況に応じて、懲戒や出席停止の措置（当該保護者の認識及び市教委の判断を仰ぎながら執行）等を講じていくことなど、学校としての毅然とした方針を明確にしていく機会をもつ。
- (3) P T Aや地域の関係団体等と学校関係者が、いじめ問題について協議する機会を設けたり、コミュニティスクールを活用したりするなど、いじめの問題について地域、家庭と連携した対策を推進する。

#### 【具体的取組】

- コミュニティスクール（C S）・PTA 総会・三役会・学年幹事会・総務会・学級 PTA の場の設定
- 学校だより等各種広報による啓発
- 中学校生活を見通した 2 中学校区小中一貫教育推進協議会の充実
- 串木野中校区串木野西中校区小中一貫教育研究指定に係る研究推進
- 市校外生活指導連絡協議会での共通理解

### 5 関係機関との連携

- (1) 警察や児童相談所等との適切な連携を図るため、平素から学校と関係機関の担当者の窓口交換や連絡会議の開催など、情報共有体制を構築しておく。

#### 【具体的取組】

- いちき串木野警察署、駅前交番、児童相談所、市福祉課、民生委員、主任児童委員、S C、SSW との密な連携
- 6 校 P T A連絡会の開催（年 1 回）

# 串木野小学校防災規定

## 1 防火防災規定

- 第1条 串木野小学校ならびに児童の火災に対する認識を深め、火災発生を未然に防止するとともに、火災予防及びその他の災害発生時における冷静迅速、かつ適切な処置をすることを目的とする。
- 第2条 串木野小学校に串木野小学校防災隊を設け、職員全員を持って組織する。編成は、防火防災要領の通りとする。
- 第3条 防災隊は、火災・水災・風災・地震（以下非常事態という）が発生認知した時は、校内放送で通報する。
- 第4条 防災隊は、前条の非常事態を認知したときは、冷静、迅速に児童を定められた避難経路により避難させ、各分担、任務に従事する。
- 第5条 防災隊は訓練を通して、防災用具の所在、使用法、建物内外の状況及び避難誘導・物品搬出・その他防災についてあらゆる事項を熟知する。
- 第6条 防災用の器具の数及び配置は、防火防災要領の通りとする。
- 第7条 防災隊の各係の任務は、防火防災要領の通りとする。
- 第8条 校内各部署の防火責任者は、防火防災要領に定め、常に、火気に対する注意と責任を明確にする。
- 第9条 常時の火気使用は、防火防災要領に定めた場所に限る。教室、その他の場所での火気使用は、学校長（教頭）の許可を受ける。
- 第10条 校内における各教室の安全については、毎月20日を安全の日として、全職員による点検活動を定期的に行い、また、防災設備については、年1回の点検活動を行い万全を期す。

## 2 防火防災要領

本要領は、平常時、非常時に大別し、本校職員防火防災に対する認識を深め、事故発生を未然に防ぐとともに非常時における適切な処理ができるることを目的とする。

### （1）平常時における処置

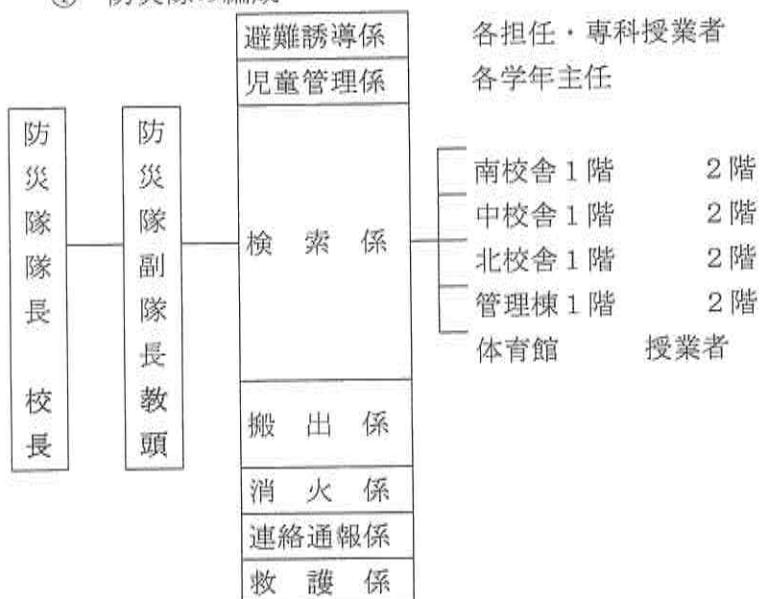
- ① 重要書類は、使用後必ず所定の場所に保管しておく。
- ② 重要書類は下記の通りとする。  
(指導要録、健康診断票、歯の検査票、各学年修了生台帳、卒業生台帳、沿革誌)
- ③ 非常持ち出し
  - ・ 諸規定、諸研究誌、その他・・・・・・・・・・・・ 横長室
  - ・ 会計諸帳簿（PTA、俸給、その他）・・・・・・・ 事務室
  - ・ 公文書綴り、諸資料綴り・・・・・・・・・・・・ 職員室
  - ・ その他の備品・・・・・・・・・・・・ 各教室・特別教室
- ④ 校舎
  - ・ 常時の火気使用は、校長室、職員室、事務室、主事室、保健室、第一・第二音楽室、第一・第二理科室、家庭科室、たんぽぽ学級、あおぞら学級、図書室、購

貲部、家庭・音楽・理科の各準備室、初任者研修室に限り、使用後は、それぞれの責任者が消火確認をする。

- ・ 教室、その他の場所で火気を使用する場合は、校長（教頭）の許可を受ける。使用後は使用責任者で後始末を十分点検し火気に留意することとする。
- ・ 校舎及び校庭を外部者が使用した時は、各種団体、学校責任者は点検をする。
- ・ 火元責任者（火気取締責任者）を設け確認する。各教室は学級担任、特別教室その他はそれに最も関係の深い者がその任にあたる。
- ・ 暖房器具使用（冬季）の部屋はマッチ、ライター等を職員の机上等に放置しておかないようにする。
- ・ 電気設備に留意する。特に漏電等を防ぐために、配線の状態を点検する。
- ・ 消火施設　　火災報知器、消火器、プール　　（コンセントから抜く）

## （2）非常時における処理

### ① 防災隊の編成



### ② 各係の任務

- ア 隊 長　　・ 学校職員を指揮、監督する。
- イ 副 隊 長　　・ 隊長を補佐し、不在の時は代理する。また、校内放送や非常ベル等を使って災害を職員・児童へ通報する。
- ウ 避難誘導係　　・ 正確な情報を確認し、安全な場所へ避難誘導する。
- エ 児童管理係　　・ 安全な場所へ誘導させた後、安全を期すため児童を管理する。
- オ 検索係　　・ 児童の避難完了後、教室やトイレの残留児童の検索及び窓の状態を確認する。
- カ 搬出係　　・ 隊長の指示により、校長室、事務室、職員室等の非常持ちだし品（重要書類）の監視、運搬をする。
- キ 消火係　　・ 隊長の指示により、初期消火に当たる。状況によっては校舎の電源を切る。

- ク 連絡通報係      • 消防署に通報したり、教育委員会に連絡したりする。  
                         • 消防隊到着と同時に消防隊の誘導に当たるとともに、逃げ遅れた者等の報告をする。
- ケ 救護係      • 負傷者や病人の手当などを行う。

### ③ 防災活動の要領

#### 児童在校時

- 出火を知った者は、まず、近くの非常ベルを押し、周りに知らせる。そして、校長、教頭へ連絡する。
- 教頭（不在の時は連絡通報係）は、状況を判断し、直ちに校内放送により、「待機」または、「緊急」を指示するとともに消防署へ連絡する。
- 避難が完了したら、担任は学年主任に人員と異状の有無を報告し、分担により任務につく。
- 学年主任は教頭へ、教頭は校長へ異状の有無を報告する。

(報告経路)    **担任** → **学年主任** → **教頭** → **校長**

#### 児童不在・職員在校時

- 出火を知った者は、直ちに校長、教頭へ連絡する。各係は校長の指示によつて行動するが、原則として次のようにする。ただし、特に搬出の急を要しない時は、消火係へ全面協力をする。
- 搬出係は、所定の場所へ搬出後、搬出物を保管し、警備の任にあたる。その他の重要物件の搬出については、他の職員の協力を得て最善の努力をする。

### ④ 避難誘導の要領

#### 授業の場合

- 通報を確認後直ちに授業を中止し、児童に指示を与える。
- 行動隊形は、二列縦隊を原則とする。
- 児童に行動中は次のことを守らせる。
  - 口を閉じる     階段を飛び降りない     前の人を押さない
  - 避難姿勢（煙中はハンカチで口・鼻をふさぎ低い姿勢で）
  - 列から離れない     誘導に従う
  - 出口など混雑する場合は下学年を優先する
- 体育・音楽等、自室以外の場所で授業の学級は、その場から避難することを原則とする。
- 児童は学用品を携行しないことを原則とする。
- 避難途中窓が開いていたら火災発生時は必ず閉めさせる。
- 避難場所は状況によって変化するが、原則として運動場東とする。
- 避難途中の障害物には十分注意させ、特に地震の場合は校舎や樹木から離れるように誘導する。
- 担任は人員を調べ、欠員の場合は出席簿で氏名を確認する。
- 担任は避難誘導の際、必ず出席簿を持参する。
- 火災の場合は窓を閉めてから避難する。

### 休憩時

- ・ 外遊びの場合は、児童は校庭へ学年別に集合し、その後は教頭もしくは、通報係の指示に従う。
- ・ 室内にいる場合は、各自の教室に集まり、その後は「授業の場合」に準ずる。

### 暴風雨時の下校

- ・ 校長の指示により、下校準備をし、注意を与える。  
 車に注意     側溝に注意     崖崩れに注意     雨具の付け方
- ・ 公民館別に下校する。
- ・ 職員は担当地域に分かれて、児童を引率指導する。

### 地震時

- ・ 教室にいる時は、机の下にもぐりこむ。
- ・ 廊下、階段にいる時は、近くの教室の机の下にもぐりこむ。その余裕がない時は、壁際にしゃがむ。（体育館の場合は中央部がよい。）

### ⑤ その他

次のものについては、絶対に触ってはいけないことを現場や実物を通して児童に指示しておく。

- 消火器     火災報知器

### 避難訓練本時の実際例（地震及び火災の規定）

| 時間  | 児童の活動  | 留意事項   |
|-----|--|--|
| 5分  | 1 事前指導を受ける。<br><input type="radio"/> めあて <input type="radio"/> 態度  | ・ 避難訓練の目的について、理解を深めさせる。  |
| 15分 | 2 通報、指示の内容を正しく聞く。<br>3 机の下に避難する。<br>4 避難を始める。<br><input type="radio"/> 上履きのまま<br><input type="radio"/> 出入り口に近い人から<br><input type="radio"/> 話をしないで、おさない | ・ 状況をよく理解させてから行動させる。<br>(無言、沈着、迅速)<br>・ 指示に従って安全に、早く避難させる。<br>・ 出入り口では特に気をつけさせる。 |
| 20分 | 5 避難場所で整列する。<br>6 消火器を使用した消火演習を見る。<br><input type="radio"/> 消火係  | ・ 見学場所へ移動させる。<br>・ 風向きを考えて安全に配慮する。<br>・ 消火の仕方を理解させる。                             |
| 5分  | 7 消防署の人の話を聞く。<br>8 講評を聞く。（学校長）<br>9 教室へ移動する。<br>10 訓練の反省をする。   | ・ 避難訓練について良かったところや問題点についての話を聞く。<br>・ 休み時間中、掃除中等の避難の仕方を指導する。                      |

# 校内研修計画

## (1) 研修の目的

校内研修の円滑な運営と教育課題解決のための研修を推進しながら、学校教育目標の具現化に期する。

## (2) 努力点

- ① 全職員での研修体制を確立し、共通理解の基に相互協力・役割分担など組織的な研修を推進しながら、教師の資質向上に努める。
- ② 各教科・領域等・各部の努力点に則し、教育活動全般にわたって研修を推進し、全体への反映を図る。
- ③ 授業を通した研修に積極的に取り組み、理論と実践の一体化を図り研究テーマの解明に努める。
- ④ テーマ研修・その他の研修の区別なくできるだけ講師を招へいし、教師一人一人の各分野における見識を深めるような研修に努める。
- ⑤ 研究・研修に関する情報・資料の収集・整理を積極的に進め、その活用を図るとともに、外部への研修会等への積極的参加を推進する。また、紙面を持って研修会報告を行い、全職員に研修内容が伝わるようにする。
- ⑥ 研修の記録を大切にし、研修の成果と課題を明らかにする。

## (3) 研修の内容

テーマ研究 一般研修 経験者研修（ステップアップ研修・パワーアップ研修）

初任者研修（フレッシュ研修）

## (4) テーマ研究について

### ① 研究の方向

#### 研究の方向性

子どもの連続的な学びにつなげる小中連携のあり方はどうあればよいか（仮）

～児童が意欲的に外国語活動・外国語科（英語）に取り組むために～

#### 背景

##### 学習指導要領趣旨から

- ・ 学習指導要領から、自ら学び自ら考える「生きる力」の育成を図るために、子どもたちが主体的に活動する授業の工夫が必要であり、確かな学力を育成させるためには、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力並びにコミュニケーション能力の育成が不可欠である。

##### 学校教育目標から

- ・ 「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、自ら学ぶ串木野小の子の育成」という学校教育目標達成のために、生きる力を向上させることが重要であり、そのためには、思考力・判断力・表現力を伸ばしコミュニケーション能力を高めることが不可欠である。

##### これまでの研究から

- ・ 平成29年度は、外国語活動についての研究を行った。新しく導入される外国語活動・外国語に対応すべくこれまで行ってきた授業の成果を生かしながら授業を構成し、実践してきた。また、環境整備に努め、外国語活動がスムーズに取り組めるようにしている。今後に向けて更に外国語活動の研究を深めたいという職員の意見が多かった。

##### 児童の実態から

- ・ 外国語活動の研修を行ってきた結果、子ども達の学ぼうとする姿が見られ、学習意欲が高まっている。ただし、個人差もあり、主体的に児童全員が取り組めていない課題もあったので、今後も継続して取り組む必要がある。

### ② 研究内容

- ア 小学校から中学校までの学びを考えた外国語活動・外国語の指導方法についての研修
- イ A L TやA E Tなどの講師招聘による実技研修や職員のスキルアップ研修
- ウ 研究授業による全体研修

## 5 一般研修について

十分な時間を確保するために主に長期休業中に実施する。

(例)：「救命救急法研修」「PC研修（Excel・PowerPointなど）」「図工実技研修」「人権同和教育研修」「学級活動（話し合い活動の仕方）」「作文指導研修」「音楽実技研修」「社会科フィールドワーク研修」等

## 6 経験者研修・初任者研修について

経験者研修・初任者研修については、別途取り扱いとし、担当が具体的指導に当たるが、全校態勢で支援を行う。

## 7 研修計画（案）

| 月 日 (曜)     | 一般研修内容                        | テーマ研修内容                             | 担当(分担)             | 備考(講師招聘等)   |
|-------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------|-------------|
| 5／14 (月)    | 道徳研修（実践・所見等）                  |                                     | 道徳主任               |             |
| 5／21 (月)    | 救命救急研修                        |                                     | 体育指導担当             | 講師招聘        |
| 5／24<br>(木) |                               | ・今年度の研修について<br>（・仮説・実践内容・研究授業のイメージ） | 研修係                | 研究推進<br>委員会 |
| 5／28<br>(月) | 通知票・要録について                    | ・今年度の研修計画の確認<br>・研究授業者等決め・部会（班長決め）  | 研修係<br>班長          |             |
| 6／11<br>(月) |                               | ・7月授業 指導案検討<br>・班会（実践計画報告）          | 研修係・授業学年部<br>他の学年部 |             |
| 6／25 (月)    |                               | ・模擬授業                               | 研修係                |             |
| 7／2 (月)     |                               | ・研究授業・授業研究                          | 研修係                | 講師招聘        |
| 8／1<br>(水)  | ・特別支援研修・生徒指導研修<br>・図工研修（絵画指導） | 夏の計画は、7月に決定                         | 特別支援係<br>教頭        |             |
| 8／21<br>(火) | ・服務研修①・NRT分析<br>・アレルギー対応研修    | ・10月授業 指導案検討<br>環境整備班：中間報告          | 研修係・授業学年部<br>他の学年部 |             |
| 8／29 (水)    |                               | ・模擬授業                               | 研修係                |             |
| 9／3 (月)     | 全国学力学習状況調査分析                  | ・模擬授業（2回目）                          | 研修係                |             |
| 9／10 (月)    |                               | 10月30日の準備                           | 教頭・研修係             |             |
| 10／30 (火)   | 英語・外国語セミナー                    | ・研究授業・授業研究                          |                    |             |
| 11／12 (月)   | 人権同和教育研修                      |                                     |                    | 講師招聘        |
| 12／         | 服務研修②                         |                                     |                    | 冬休み期間中      |
| 1／21 (月)    | 鹿児島学習度定着度調査採点・入力              | 来年度の研修に向けて意見交換、<br>※1／15（火）に入れ替えが必要 | 教育方法係              |             |
| 3／4 (月)     |                               | 研修のまとめ                              | 研修係                |             |

## 年間行事計画

| 月 | 日・曜・行事名  | 月  | 日・曜・行事名   |
|---|--|----|---|
| 4 | 8(月) 新任式、始業式、第73回入学式<br>いじめ問題を考える週間<br>11(木) まなびの教室はじまりの式<br>学級PTA・専門部会<br>12(金) 1年生給食開始<br>15(月) 家庭訪問(～26日)<br>16(火) NRT検査(2～6年 国語・理科)<br>17(水) NRT検査(2～6年 社会・算数)<br>18(木) 全国学力・学習状況調査(6年)<br>23(火) 知能検査(2・4・6年)<br>24(水) お茶出前授業(5年)          | 10 | 1(火) 衣替え期間<br>4(金) 芸術鑑賞会<br>8(火) 移動講座・市英語・外国語指導力向上セミナー(本校)<br>16(水) 小学校陸上記録会(5・6年)<br>20(日) PTA奉仕作業<br>24(木) 秋の一日遠足(1～4年)<br>28(月) 修学旅行(～29日)   |
| 5 | 8(水) 避難訓練(火災)<br>9(木) PTA幹事会・総務会<br>体力テスト(5・6年)<br>11(土) 土曜授業、1年生を迎える会<br>13(月) 健康生活週間(～17日)<br>14(火) 写生大会<br>15(水) 授業参観、学級PTA、PTA総会<br>23(木) 交通安全教室<br>24(金) PTA歓迎会<br>26(日) PTA奉仕作業<br>27(月) JRC登録式<br>28(火) 5年宿泊学習(～30日)<br>31(金) プール清掃(6年) | 11 | 1(金) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間<br>学校保健委員会、ふれあい給食<br>PTA教育講演会<br>5(火) さのさ集会<br>7(木) 避難訓練(不審者対策)<br>17(日) PTAリサイクル活動<br>22(金) アクア交流会(旭小・串木野小・荒川<br>小一日合同学習)<br>25(月) 持久走大会(低中高ごとに～28日)<br>26(火) 小中一貫教育公開(串中校区) |
| 6 | 2(日) 家族参観、教育講演会<br>引き渡し訓練(原発事故)<br>歯と口の健康旬間(～14日)<br>プール開き(6年)<br>7(金) 8(土) 土曜授業、集団下校訓練<br>串中・西中校区合同家庭教育強調週間(～21日)<br>14(金) 23(日) PTAリサイクル活動<br>26(水) 学校保健委員会<br>28(金) 小中一貫乗り入れ授業(6年)  | 12 | 1(日) 人権月間<br>4(水) 学級PTA<br>9(月) コース別集団下校<br>14(土) 串中・西中英語乗り入れ授業<br>21(土) PTA正月飾り作り<br>24(火) 終業式<br><br><PTAキャラクター><br>きらりちゃん  |
| 7 | 3(水) 学級PTA<br>14(日) さのさ祭り(市中流し)<br>19(金) 終業式   | 1  | 8(水) 始業式 健康生活週間(～14日)<br>15(水) 鹿児島学習定着度調査(5年～16年)<br>23(木) なわとび大会(2・4・6年)<br>6年学級PTA<br>29(水) なわとび大会(1・3・5年)  |
| 8 | 1(木) 出校日<br>21(水) 出校日<br>25(日) PTA奉仕作業   | 2  | 12(水) 学校保健委員会<br>16(日) PTAリサイクル活動<br>27(木) 学級PTA<br>28(金) お別れ遠足・6年生を送る会   |
| 9 | 2(月) 始業式、いじめ問題を考える週間<br>健康生活週間(～6日)<br>5(木) 学級PTA<br>9(月) 給食週間(～13日)<br>26(木) 運動会会場設営<br>29(日) 第73回秋季運動会   | 3  | 24(火) 第73回卒業式<br>25(水) 修了式<br>27(金) 辞任式   |

令和元年度 串木野小学校PTA会長・副会長・専門部長・副部長・専門部長・副部長・学年正副幹事長名簿

|   |                       |                       |                       |                            |                       |
|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|
| 会<br>顧<br>長<br>間<br>問                               | 隈元<br>景一<br>西田<br>憲智  | 副会長<br>副会長            | 網屋<br>心一<br>榎並<br>哲郎  | 副会長<br>副会長                 | 佐拔<br>千恵子<br>吉武<br>江美 |
| 長<br>部<br>副<br>部<br>長<br>長                          |                       |                       |                       |                            |                       |
| 専<br>門<br>部<br>部<br>副<br>部<br>長<br>長                | 井<br>上<br>美<br>香      | 米<br>丸<br>友<br>芳      | 南<br>新<br>佑<br>紀      | 久<br>木<br>山<br>真<br>由<br>美 | 田<br>島<br>薦<br>蘭      |
| 総<br>務<br>部<br>部<br>未<br>吉<br>美<br>由<br>紀           | 加<br>藤<br>知<br>衣<br>子 | 南<br>竹<br>利<br>奈      | 須<br>納<br>瀬<br>香<br>織 | 前<br>烟<br>薰                | 川<br>烟<br>さ<br>上      |
| 保<br>健<br>部<br>部<br>橘<br>和<br>木<br>田<br>希           | 中<br>村<br>麻<br>美      | 吉<br>田<br>麻<br>意      | 井<br>上<br>か<br>おり     | 木<br>村<br>智<br>美           |                       |
| 環境整備部<br>部<br>久<br>清<br>水<br>麻<br>也<br>美            | 小<br>村<br>ゆ<br>か      | 藤<br>園<br>健<br>司      | 岩<br>切<br>潤           | 愛<br>川<br>絹<br>代           | 橋<br>口<br>秀<br>一      |
| 事業部<br>部<br>淺<br>山<br>剛<br>東                        | 未<br>起                | 中<br>野<br>明<br>菜      | 國<br>料<br>いく<br>え     | 湯<br>田<br>留<br>美           | 本<br>間<br>真<br>理      |
| 研<br>修<br>部<br>部<br>保<br>木<br>永<br>吉                | 岩<br>崎<br>愛<br>子      | 税<br>所<br>志<br>織      | 尾<br>崎<br>明<br>子      | 永<br>牧<br>真<br>紀           | 須<br>納<br>瀬<br>広<br>美 |
| 広<br>報<br>部<br>部<br>小<br>畠<br>千<br>里<br>恵<br>美      | 田<br>代<br>恵           | 富<br>岡<br>友<br>恵      | 鶴<br>田<br>里<br>子      | 福<br>山<br>リ<br>工           | 木<br>佐<br>賈<br>由<br>美 |
| 給<br>食<br>部<br>部<br>久<br>萩<br>木<br>山<br>梨<br>沙<br>惠 | 福<br>留<br>千<br>代<br>美 | 後<br>夷<br>雅<br>子      | 神<br>菌<br>光           | 鬼<br>塚<br>妙<br>子           | 岩<br>村<br>美<br>由<br>紀 |
| 体<br>育<br>部<br>部<br>塚<br>田<br>野<br>大<br>也<br>平      | 亀<br>崎<br>ゆ<br>かり     | 下<br>門<br>宏<br>美      | 大<br>王<br>里<br>香      | 木<br>下<br>美<br>歩           | 植<br>屋<br>友<br>之      |
| ペルマーク部<br>部<br>尾<br>辻<br>迫<br>恵<br>沙                | 内<br>村<br>美<br>由<br>紀 | 久<br>保<br>は<br>る<br>な | 有<br>馬<br>恭<br>子      | 新<br>屋<br>敷<br>春<br>奈      | 柳<br>田<br>由<br>香<br>梨 |
| 学年幹事長<br>湯永<br>朋弘                                   | 副幹事長<br>諏訪<br>香代子     |                       |                       |                            |                       |

# 平成31年度 串木野小学校PTA活動目標・努力点

## スローガン

「よく考え 明るく すなおで がんばる子」を育てよう！！  
～夢にときめけ！明日にきらめけ！楽しもう互いに 1人の100歩より100人の1歩～

### 1 活動目標

- (1) 子どもたちの健全な育成をめざし、学校・家庭・地域社会との連携を深める。
- (2) 会員相互の学習、研修会へ積極的に参加する。
- (3) 親子のふれあいを通して命の大切さを教え、家庭の絆を深める。

### 2 努力点

#### (1) 家庭での教育を深める。

- ア 「にこにこ・きらめき学校宣言」を学校・家庭に広める。  
～いじめ、不登校のない学校をめざそう～
  - 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯運動、串小あたりまえ3ヶ条)を身に付けさせる。
  - あいさつやあたたかい言葉づかいに励み、親子のふれあいの場をつくる。
- イ 「我が家の教育の日」(毎月23日)を設定し実践する。  
～一緒に過ごそう我が家の教育の日！一緒に読書、一緒に運動、・・・・～
  - ・ ノーメディアデー・タイム(テレビ、ゲーム、パソコン)の実践
  - ・ 夜の9時以降は携帯電話・スマホ・パソコン・ゲーム機は使わない。
  - ・ 「子どもといっしょに読書の日」、親子スポーツの実践
- ウ 家庭学習(最低宅習時間：学年×10分+20分)を習慣化させる。  
～めざそう！我が家の赤ペン先生～
- エ 望ましい食習慣(食事の作法、食べ残さない、偏食しない等)を育成する。  
～今日も元気だ！ごはんがおいしい！、みんなでごはん！～



#### (2) 学年・学級PTAの充実を図る。

- ア 保護者と担任・職員の連携を図る。
- イ 全学年・学級で家庭での教育の取組を深める。



#### (3) 地域PTAの充実を図る。

- ア 保護者・教師・公民館との連携を図る。
- イ 児童への安全対策の充実を図る。
- ウ 校外における生活指導の充実を図る。



#### (4) 専門部活動の充実を図る。

- ア 一人一役の活動に積極的に参加する。
- イ 専門部相互の連携を推進する。

#### (5) 会員研修を積極的に推進する。

- ア 家族参観・学級PTAに積極的に参加する。
- イ 各種研修会等に積極的に参加する。
- ウ 家庭教育学級に積極的に参加する。(1年生の保護者は全員学級生として登録し少なくとも2、3回は参加する。)



#### (6) 学校・地域の活動を積極的に推進する。

- ア 地域行事やボランティア活動に積極的に参加する。
- イ 学校の美化・緑化活動に積極的に参加する。
- ウ 環境教育としての資源再利用活動を推進する。

### 串木野小キヤッチフレーズ

笑顔と  
あいさつと  
優しさ  
いっぱいの学校

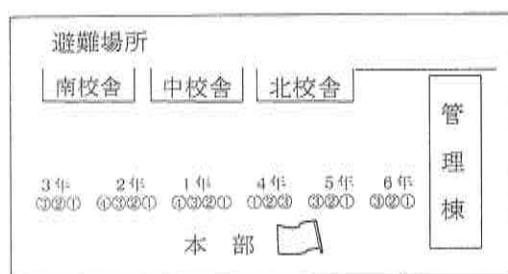
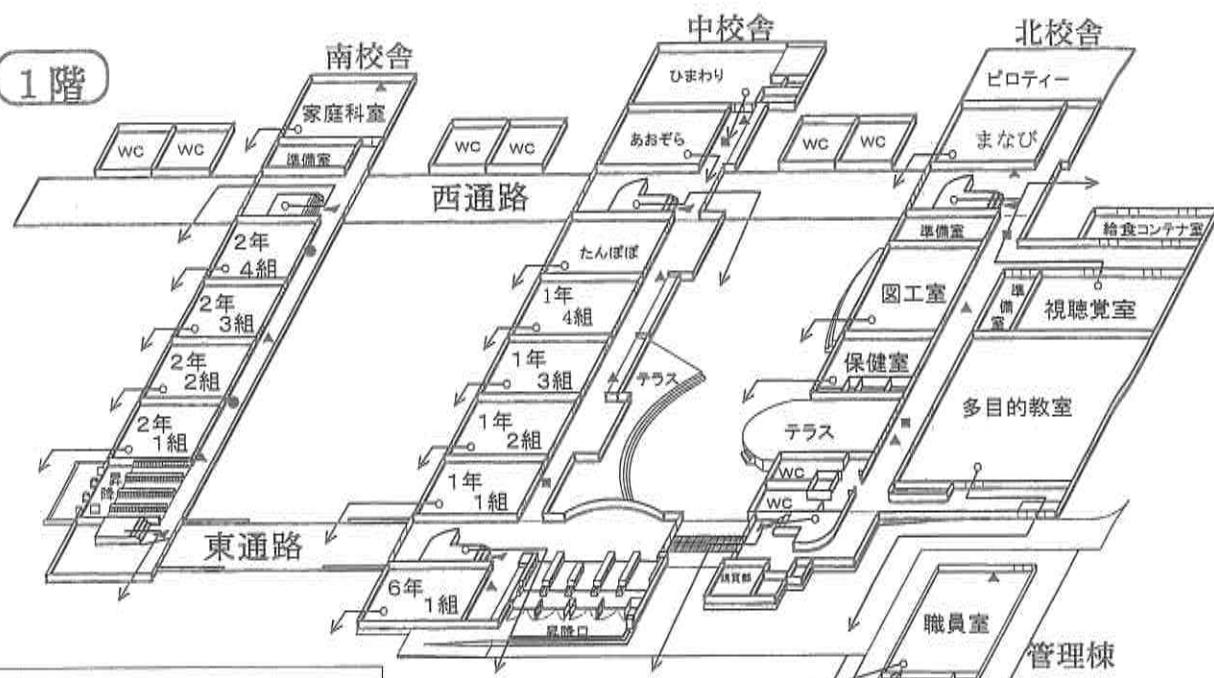
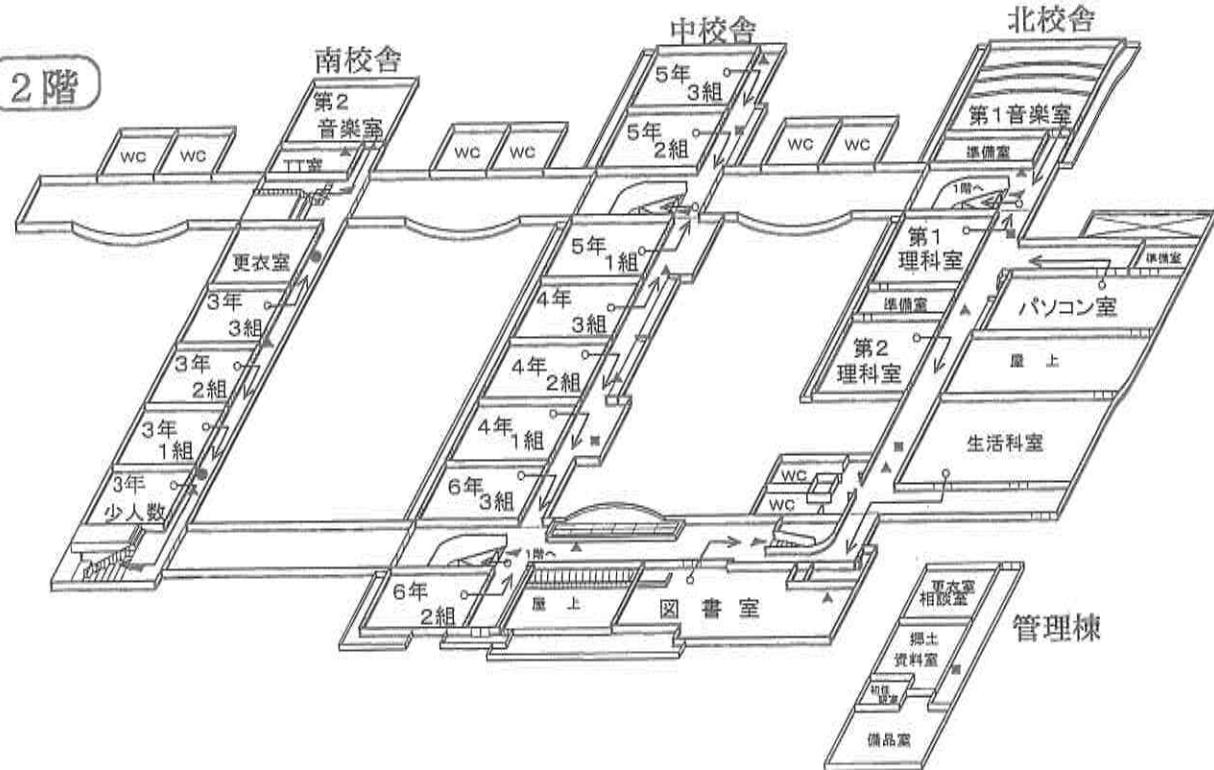
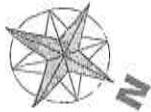
### 串小の子は「あたりまえ3ヶ条」ができます！

「あたりまえ3ヶ条」とは…

- 1 (元気な)あいさつ
- 2 (元気な)返事
- 3 整理整頓(机、いす、くつ並べ)

# 避難経路図

いちき串木野市立串木野小学校



本校の消火設備

|       |   |      |
|-------|---|------|
| 火災報知器 | ● | 6カ所  |
| 消防火器  | ▲ | 25カ所 |
| 消防火扉  | ○ | 8カ所  |
| 消火栓   | ■ | 9カ所  |

